

熊本は昨年4月、これまでに経験したことのない大きな地震に見舞われました。熊本市社会福祉協議会では発災後、「熊本市災害ボランティアセンター」を開設しました。全国より延べ約4万人のボランティアの方々が家の中やガレキの片づけなどの活動をされました。災害ボランティアセンターは11月30日に閉所し、現在は熊本市ボランティアセンターで対応しております。

地域の皆様におかれましては、ご自身が避難したり地域の支援者として避難所を運営したりと大変な一時期を過ごされたことと思います。熊本市社会福祉協議会北区事務所では「もし、また災害が発生し避難所を運営する場合」を想定し避難所運営をみんなで考える災害演習として『避難所運営ゲームHUG』を地域の方々を対象に開催しております。

例題 災害対策本部です。仮設トイレが6基到着します。設置場所を決めて下さい。



小学校を避難所として演習
運動場、体育館、校舎を活用し避難者や設置物の配置を考える



男性料理教室モデル事業

平成28年度モデル指定地域
『高平台校区第4町内』

一人暮らしの男性や高齢者世帯の男性を対象に、退職後の社会参加のきっかけや地域での仲間作りを目的に男性料理教室を開催しました。28年度は高平台校区第4町内（西哲司自治会長）をモデル地域とし第4木曜日に山室公民館で『山室クッキング隊』と名称を付け、民生委員さんや食改さんのご協力のもと、おそろいのエプロンを付けて楽しく元気に開催しました。毎回、次のメニューを参加者の希望で決めました。

メニュー

- 第1回 夏野菜カレー、スープ
- 第2回 団子汁、おにぎり
- 第3回 チャーハン、かき玉汁
- 第4回 ハヤシライス、スパゲッティサラダ
- 第5回 親子丼、豆腐汁



参加者のみなさんには大変好評でモデル事業終了後は地域の事業として自主運営されます(*^_^*)

男性料理教室モデル事業

- 1 モデル指定期間 6ヶ月間（月1回開催）
- 2 モデル対象 校区社会福祉協議会及び町内自治会等でモデル期間終了後、自主運営で継続すること
- 3 参加対象者 一人暮らし高齢者及び高齢者世帯の男性
- 4 参加人数 10名程度
- 5 開催場所 地域の公民館やコミセン等
- 6 参加費 200円

※モデル指定期間中の材料代は本会で負担します

みなさんの地域でも取り組んでみませんか？

平成29年度ボランティア活動保険
平成29年度ふれあいサロン傷害保険
受付始まっております

補償期間

平成29年4月1日～平成30年3月31日

『悩みごと、心配ごと』ご相談ください

☆北部心配ごと相談所

開催日 毎月第2、第4火曜日10:00～正午
場所 北部総合出張所

☆植木心配ごと相談所

開催日 毎週木曜日 10:00～正午
場所 熊本市社会福祉協議会北区事務所



Q サロンをはじめたきっかけはなんですか？

A 私の住んでいる地域は30年ほど前にできた新興住宅地になります。以前から自治会で公民館の掃除をされていましたが、私にも何か出来ることはないかと老人会で会う方々に声をかけて月1回、第3日曜日に公民館掃除をする事になり、掃除が終わった後におしゃべりしたり、物作りをしたりするサロンを開催しようという事になりました。

Q サロンを開催してみたいかがですか？

A 参加者は20名くらいです。みなさん、毎月楽しみに参加されていて最初に声をかけた後には連絡しなくても来られます。参加者の趣味を活かした内容を運営ボランティア5人で考えています。月1回なので苦にはなりません。民生委員さんが考えた信条を毎回みんなで声を出して読んでいます。

①いつも笑顔の人②ありがとうを言える人③ごめんなさいを言える人
この3つを心に留めて、元気に過ごすように楽しく開催しています。



昨年7月からふれあい・いきいきサロンを開催されている山東校区「寿シニア会」代表者の内田貞子さんにお話を伺いました。